

AIアプリGELPを用いて指導の個別化（個別最適な学び）を授業開発
財部裕一郎先生（熊本大学教育学部附属中学校教諭）

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

自己紹介



財部裕一郎 (たからべ ゆういちろう)

熊本大学教育学部附属中学校 勤務4年目

令和7年度文部科学省

「AI活用による英語教育強化事業」AI活用リーダー

令和5年度 九州英語教育学会シンポジウム

「やり取りを活発にする指導と評価」パネリスト

英語教育 (大修館書店) に複数投稿あり



AI × 英語授業の実践から 見えた「個別最適」の可能性

—AIアプリ「GELP」の活用を通して—

熊本大学教育学部附属中学校

財部 裕一郎

takarabe@educ.kumamoto-u.ac.jp



GELP
Global English Learning Partner

それではご覧ください



AI × 英語授業の実践から 見えた「個別最適」の可能性

—AIアプリ「GELP」の活用を通して—

熊本大学教育学部附属中学校

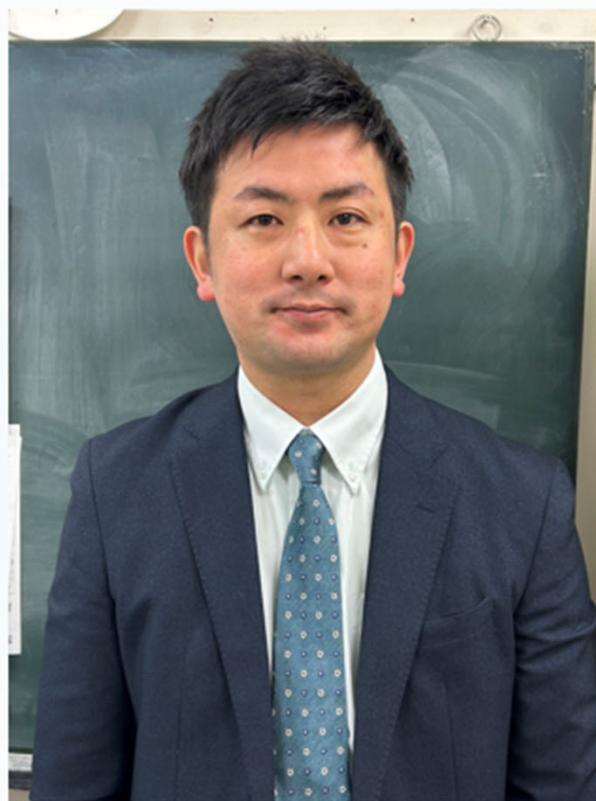
財部 裕一郎

takarabe@educ.kumamoto-u.ac.jp



GELP
Global English Learning Partner

自己紹介



財部裕一郎 (たからべ ゆういちろう)

熊本大学教育学部附属中学校 勤務4年目

令和7年度文部科学省

「AI活用による英語教育強化事業」AI活用リーダー

令和5年度 九州英語教育学会シンポジウム
「やり取りを活発にする指導と評価」パネリスト

英語教育 (大修館書店) に複数投稿あり

第1章：伝えたい、でも伝えられない

第2章：個別最適な学びを、英語の授業でも

第3章：AIが支える表現、教師が導く思考

第4章：GELP × Padlet × 国際交流

第5章：“伴走者”としての教師

第1章： 伝えたい、でも伝えられない

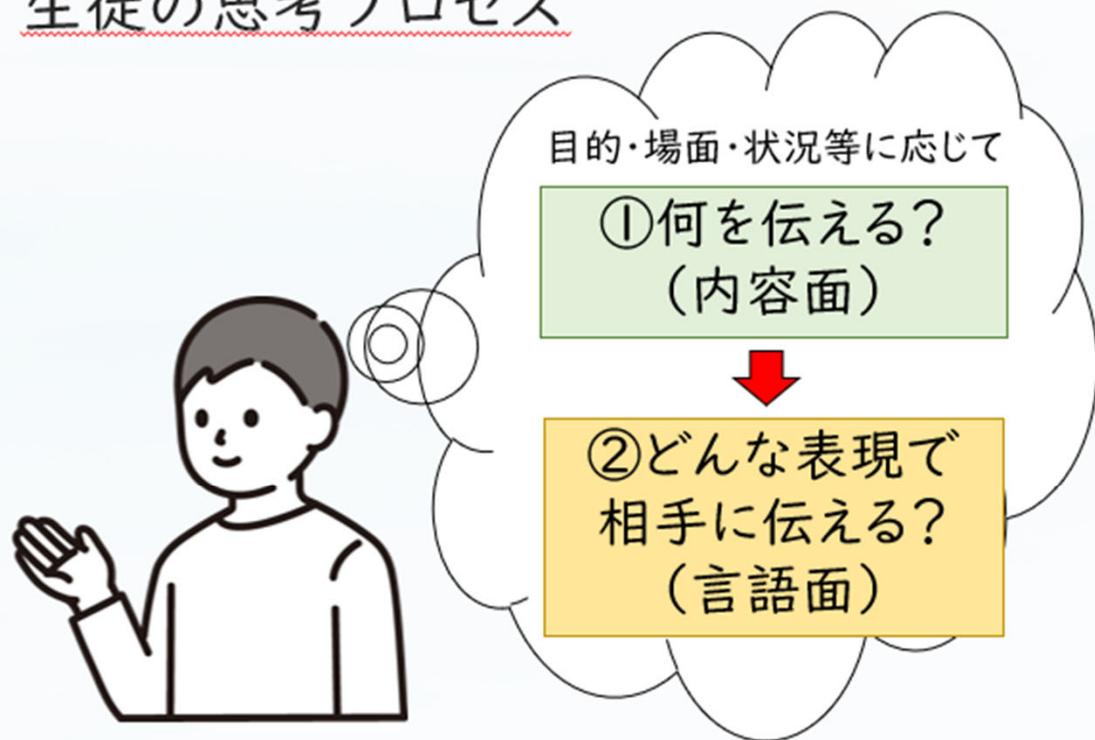
— 一斉指導の限界と個別支援の必要性 —



第1章：伝えたい、でも伝えられない

— 一斉指導の限界と個別支援の必要性 —

英語のコミュニケーションで大切にしたい
生徒の思考プロセス



<従来の一斉指導>

◎:①の考えのヒントを与える

◎:②について、その授業で必ず
活用したい表現の指導

×:②について、個々の生徒が①を
伝えるために必要な表現への
アドバイス

→①を大切にしている授業スタイルで
あればあるほど難しくなる

第1章：伝えたい、でも伝えられない

— 一斉指導の限界と個別支援の必要性 —

アドバイスする項目
が絞れない...

- ・ 発音 ・ 語彙
- ・ スペル ・ 文法

全員にアドバイス
する時間がない...

自分じゃどこが
間違ってるのか
よくわからない...

とりあえず翻訳アプリ
で日本語を英語に
しようかな...



→ 教室の中に"もやもや"が溜まっていました



第2章：個別最適な学びを、 英語の授業でも

第2章：個別最適な学びを、英語の授業でも

—GELP導入の背景—

令和6年度 熊大附属中で希望者にGTECを導入

① GTECとは？ ベネッセが実施している4技能5領域が測定できる英語外部試験。

担当者より、「GELP」という生成AIを活用した英語学習アプリがリリースされることを知る

2025年度に向け
「GTEC」は大きく生まれ変わります
生徒端末で受検可能なアセスメント Digitalが2025年度秋に更にリニューアル
「測定」も「育成」もデジタルで可能に

測定
GTEC

育成
GELP

(引用：<https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/gtecgelp/>)

第2章：個別最適な学びを、英語の授業でも

—GELP導入の背景—

GELPとは

AIが生徒の英語力や興味に合わせて最適化した学習を提案する学習支援サービスです。

生徒の英語力と関心に応じて最適化された4技能の学習体験を提供することで、生徒の英語力向上に貢献します。



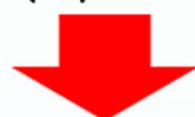
「自分専用」の
4技能の学びを実現

生成AIによる
即時フィードバック
※スピーキングとライティングのみ

興味関心に応じた
ニュースの配信

アプリ内の問題を
生徒に課題配信

生徒の英語のレベルに応じた即時フィードバックが得られる(Speaking/Writing)



自分の思いや考えを“英語で話してみる”
→AIが発音や文法などのミス指摘・修正

①何を伝えたいか→②どう伝えるか
のプロセスを、自分の英語で試してみたら
それぞれのニーズに応じて整えるという、
言語の使い手としての成長を個別最適な
学びで支える流れが実現できるのでは？

第2章：個別最適な学びを、英語の授業でも

—GELP導入の背景—

○授業内

- ・表現面での個別最適な学びを保障ができるのでは？
- ・単元を通じたパフォーマンスのポートフォリオで、生徒が自らの伸びを実感できるのでは？
- ・自己調整学習における生徒の学習方略として有用なのは？
- ・「話すこと」における評価の負担感が減るのでは？

○授業外

- ・「話すこと」に関する家庭学習のあり方が変わるのでは？

○GTECの結果を元に、生徒の得意・不得意に合わせたカリキュラム作成が可能

生徒の「伝えたい」を個別に支えられる！ → 導入を決定

第3章：AIが支える表現、 教師が導く思考

- 問いの力を育てる英語授業 -



第3章：AIが支える表現、教師が導く思考

—問いの力を育てる英語授業—

授業概要

教材: Unit 2 Our New Teacher (New Horizon I [東京書籍])

活動の背景

- 1・2年合同授業での交流後、1年生の約半数が「英語で質問できなかった」
→「問いの力を高めたい」というモチベーションが生まれた

第3章：AIが支える表現、教師が導く思考

—問いの力を育てる英語授業—

授業の流れ (AI活用を軸に)

1

① リスニング & メモ作成

教科書の登場人物の発言を聞き、「何を質問したいか」という視点でメモ。
相手・場面・目的を意識して情報を受け取るリスニング

2

② 質問を考える → GELPで再構成

登場人物への質問を考え、ペアで共有。
GELPで自分の発話を録音・文字起こし。語彙・文法・発音について個別最適な学び。

3

③ 黒板共有 → 思考の可視化

自分の問いを黒板に書き、教科書のどの情報から発想したかを明示。
思考の背景や、文化的な視点を教師と生徒のやり取りをもとにクラス全体で共有

4

④ 自己調整学習

GELP・Quizlet (語彙学習アプリ) などを使った個別学習。生徒が自分の課題に合わせて取り組む。
"どうやって伝えたらいいんだろう"という思いが学びへの動機に

第3章：AIが支える表現、教師が導く思考

—問いの力を育てる英語授業—

授業の流れ (AI活用を軸に)

2

② 質問を考える → **GELPで再構成**
登場人物への質問を考え、ペアで共有。
GELPで自分の発話を録音・文字起こし。
語彙・文法・発音について個別最適な学び。

実際に生徒が発話した内容

AIの即時フィードバック
赤: 間違っている箇所
緑: AIによる訂正

正しいフレーズでの発音
チェックが可能 (音素レベル)

What is your question to Ms. Chen?



Q1. What do you think about this sentence?

発話する

話した文章:

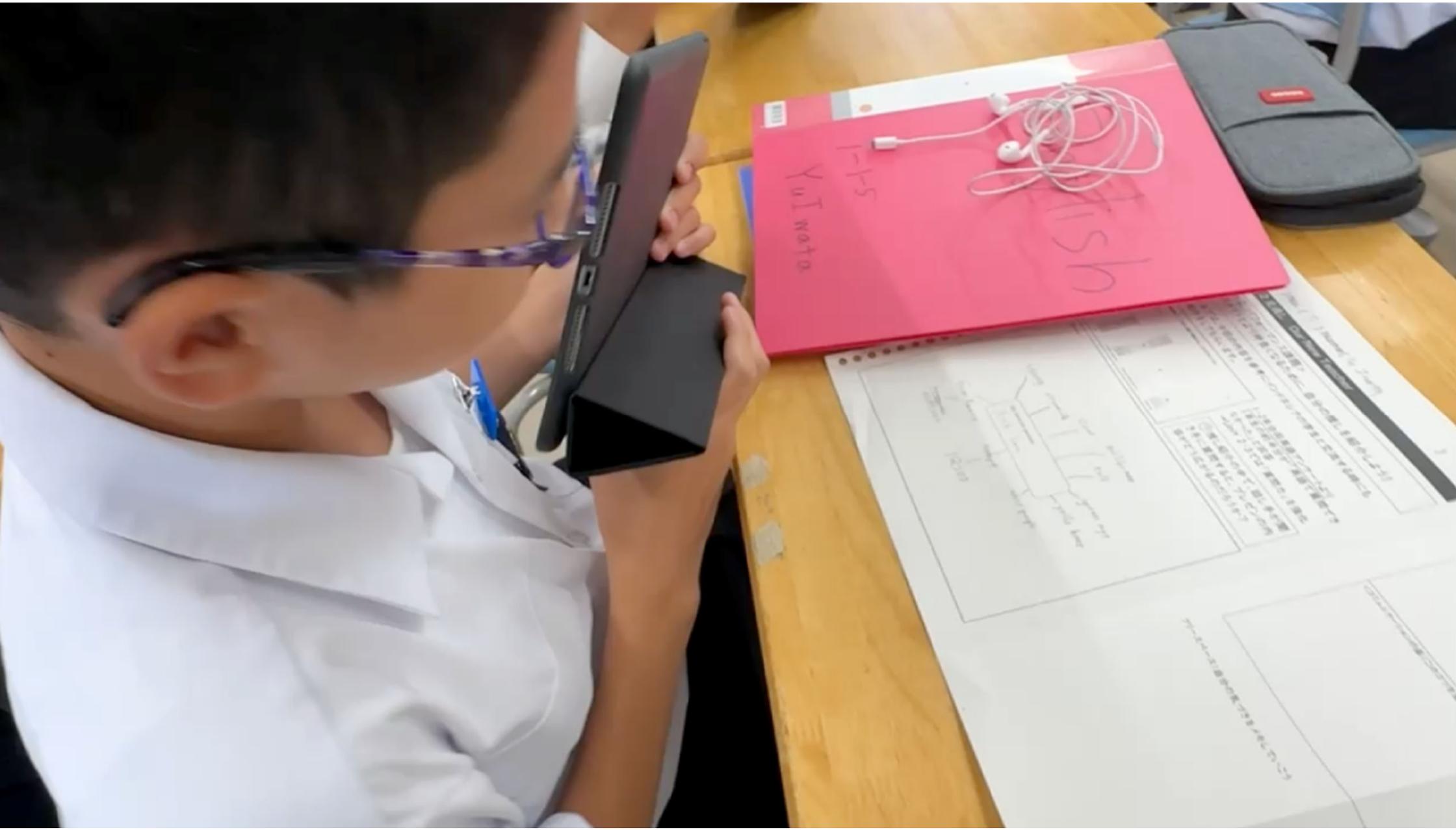
Can you cook Chinese food? Can you cook Japanese food? Can you write kanji? What Chinese food do you like?

添削結果

Can you cook Chinese food? Can you cook Japanese food? Can you write kanji? What **Chinese kind of Chinese** food do you like?

発話してみる

発音スコア: **94** 点



第3章：AIが支える表現、教師が導く思考

—問いの力を育てる英語授業—

授業の流れ(AI活用を軸に)

4

④ 自己調整学習

GELP・Quizlet(語彙学習アプリ)などを使った個別学習。生徒が自分の課題に合わせて取り組む。"どうやって伝えたらいいんだろう"という思いが学びへの動機に。

What is your question to Ms. Chen? (1)

Q1. What do you think about this sentence?

発話する

話した文章:
Can you cook Chinese food? Can you cook Japanese food? Can you write kanji? What Chinese food do you like?

添削結果
Can you cook Chinese food? Can you cook Japanese food? Can you write kanji? What **Chinese kind of Chinese** food do you like?

発話してみる

発音スコア: **94** 点

令和7年度 熊大附属中 1年3組 保存する 共有 ...

R7 1年 Unit 2-2
熊本大学教育学部附属中学校のユーザーは24名です

学生バスを利用する アクティビティを課題として出す

ゲーム

- Quizlet Live
- Blast
- マッチ
- ブロック

教室向きのモード

- 単語カード
- 学習
- テスト



第3章：AIが支える表現、教師が導く思考

—問いの力を育てる英語授業—

教師の役割とAIの補完関係

教師の役割

- 生徒の問いに「価値づけ」し、文化的な視点からの発想の広がりを支援
→「何を伝えるか」の質を高める指導

<発問()内)前後の生徒との対話の流れ T: Teacher S: Student >

T: I have a question. Ms. Chen is from Canada, so she has a Canadian root.
Do you know "root"?

S: No.

T: We have a Japanese root. We can speak Japanese and we have Japanese culture,
right? It's "root". →例示を通して、“root”の意味を生徒に掴ませる

S: Uh, I see.

T: How about Ms. Chen? Does she only have a Canadian root?
Share your idea with your partner.

T: So, Does she only have a Canadian root? Yes or no?

S: No, Canadian root and Chinese root.

T: That's right. But why?

S: Ms. Chen said, "My parents are from China." →本文を引用しながら根拠を述べる

T: You're right. Her parents are from China, so Ms. Chen also has a Chinese root.
So, these questions("Which Chinese food do you like"などを指しながら) are good.
ルーツに着目すると、相手との話を広げていくことができますね。→価値づけ

外国人とのコミュニケーションでは、相手の出身国だけでなく、文化的背景(ルーツ)に着目すると、対話の継続・発展につながることを、生徒とのやり取りの中で気づかせていった。

→発問を通して生徒の気づきを促す、教師にしかできないこと。

第3章：AIが支える表現、教師が導く思考

—問いの力を育てる英語授業—

教師の役割とAIの補完関係

AIの役割

○発音・文法などの技能に関する支援

→「どうやって伝えるか」の質を高める指導

教師は表現面の指導をしない？

むしろ逆。

AIの活用中こそ、自力で学習に取り組むことができない生徒に教師が関わっていく余裕が生まれる！

第3章：AIが支える表現、教師が導く思考

—問いの力を育てる英語授業—

実際に、ALTのプレゼンを聞いて、
質問していく言語活動を実施。

本校ALTはアメリカ・日本の
ルーツがある。
前時で獲得した背景(相手のルーツ)
に着目する視点から「何を伝えるか」
を考え、GELPの活用やペアとの
やり取りで習得した表現を活用して
ALTへの質問を考えていた。

聞き取った内容を元に考えた質問

聞き取った内容

movies do you like?

What kind of Japanese food do you like?

What kind of burger do you like?

What kind of rock K-POP group do you like?

Do you want to go to the...

Lulu ルーツ... America and Japanese

Beach Avocados

break fast or lunch

ルーツという視点から内容を整理

Collaboration Board ~Indonesia and Japan~
Let's enjoy communicating here!

Self introduction from Japan

Self introduction from Indonesia

Tata 6日前
Hmm.. I like klepon, gethuk, onde-
onde and martabak! And it was
indeed very yummy. Oh! Btw, what
about sweets in Japan?

森田 汀! 4日前



This is Japanese sweet. I like Kusa
Mochi. It's very delicious!

Tata 4日前
Wow that all looks delicious, maybe
I'll try it sometime! I'll look for the
recipe :D And thanks for the

Entei 8日前



Hallo Ryan. My name is Entei. Nice
to meet you. I love music too. I like
Tetris. Do you know Tetris? I know
Mike. She is very cute

Yushin 8日前
Oh ! I like cake too!What flavor of
cake do you like the most? 🍰🍰🍰

Dancing Rat 8日前
Hi, Yushin! I love Tiramisu cake,
matcha flavor cake, and red velvet

第4章

GELP × Padlet × 国際交流

— 相手に伝わる英語を学ぶ —

第4章：GELP × Padlet × 国際交流

—実践の概要：1学期末—

1学期末 パフォーマンステスト(話すこと(発表))

インドネシアの学生とオンライン掲示板(オンライン掲示板)で交流することになりました。
1学期の学びを活かして、相手と仲良くなるための自己紹介をGELP(AIアプリ)で文字起こししてください。時間は1分30秒です。

⊗ 課題意識：日本人同士のやりとりでは伝わってしまう英語

• 日本語の語順で話しても、ある程度伝わってしまう

→ 外国人とのやりとりでは、それでは通用しない

「どうすれば伝わるか」を考え、整える必要がある

第4章：GELP × Padlet × 国際交流

—実践の概要：1学期末—

学びのプロセス（AIによる支援）

GELPでスピーチ練習

発音や表現のフィードバックを
受けながら練習

1

2

GELP文字起こし機能

自分の英語を「見える化」して
客観的に確認

3

語彙・表現の見直し

内容を再構成し、
より効果的な表現に改善

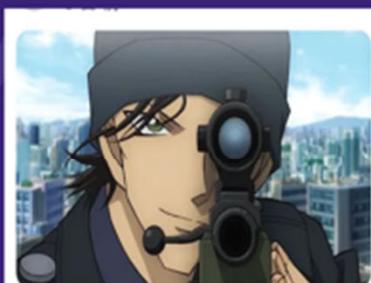
4

Padletへ投稿

自己紹介をPadletへ投稿し交流

第4章：GELP × Padlet × 国際交流

Self introduction
from Japan



Hello, my name is Otsu Sotaro.
I'm from Kumamoto, Japan.
I'm 13 years old. I like manga and anime. I like Akai Shuichi.
Do you know Akai Shuichi? He is character from the Detective Conan. He is very cool and very smart.
I'm in the soft tennis club. I enjoy playing soft tennis. I also like Japanese sweets. I want to try Indonesian sweets.

Self introduction
from Indonesia



Yohoo !! Hallo hallo, everyone!!
My name is Adrian Maurice, you can call me Ryan! I'm from a high school in Indonesia! My hobbie is playing video games, and eat! Yes, I like to eat! Matter of fact, I LOVE

1学期末 パフォーマンステスト(話すこと(発表))
インドネシアの学生とオンライン掲示板(オンライン掲示板)で交流することになりました。
1学期の学びを活かして、相手と仲良くなるための自己紹介をGELP(AIアプリ)で文字起こししてください。
時間は1分30秒です。

Padletを活用してインドネシアの学生と熊大附属中の1年生で国際交流をしています。

投稿原稿はiPadの文字起こしを活用しました。

第4章：GELP × Padlet × 国際交流

Self introduction from Japan

Tata
6 日前
Hmm.. I like klepon, gethuk, onde-onde and martabak! And it was indeed very yummy. Oh! Btw, what about sweets in Japan?

森田 汀!
4 日前

This is Japanese sweet. I like Kusa Mochi. It's very delicious!

Tata
4 日前
Wow that all looks delicious, maybe I'll try it sometime! I'll look for the recipe :D And thanks for the recommendation!

Self introduction from Indonesia

Entei
8 日前

Hallo Ryan. My name is Entei. Nice to meet you. I love music too. I like Tetris. Do you know Tetris? I know Mike. She is very cute

Yushin
8 日前
Oh ! I like cake too!What flavor of cake do you like the most? 🍰🍰🍰

Dancing Rat
8 日前
Hi, Yushin! I love Tiramisu cake, matcha flavor cake, and red velvet cake !! What about you???

お互いの投稿に対してコメントし合い、授業外でも積極的にコミュニケーションを取っていました。

リアルな外国人とのコミュニケーションの場を設定
→「正しい表現じゃないと伝わらない」という思いから、生徒がGELPを活用して表現面を磨く
→ **自信を持ってコミュニケーションに取り組むことができる!**

第4章：GELP × Padlet × 国際交流

意義と気づき

- 自律的な学習姿勢の育成
GELPを通じて「伝え方」を自ら整える姿勢が育ちました
- 意味のある表現づくり
単なる英作文・暗記ではなく、「相手に届く英語」を自律的に磨く学びが実現
- コミュニケーションの道具としての英語へ
リアルなコミュニケーションを見据えて、AIが「意味のある表現」づくりを支援することで、英語が「伝える道具」になる実感を生徒が持つように



英姿蒼爽
徳立を誇る吾輩たちよ
又勉め時清風を巻き起こせ

蒼天
明け ファーストペンギン



第5章：“伴走者”としての教師

—AIとの協働で変わる評価と指導の在り方—

第5章：“伴走者”としての教師

—AIとの協働で変わる評価と指導の在り方—

- 全ての生徒に表現面の個別最適な学びを提供可能
→ 即時フィードバックによる生徒の粘り強い取り組み
- 知識・技能の評価項目が増加
→ 生徒の発話の正確さ、流暢さ、発音を客観的に評価
単なる文法的な知識・正確性以外の側面を評価できる
- 話すこと（発表）の評価において、AIに伝わる＝客観的に外国人に伝わると考え、文字起こしされた内容を評価。かなり評価の時間的負担が減る。
- 家庭学習で4技能5領域の復習・評価が可能に

AIと教師の協働による指導と評価の質向上へ

第5章：“伴走者”としての教師

—実践の概要：1学期末—

検証：パフォーマンスの評価基準（全学調を参考に作成）

類型	基準	クラスの割合
類型1 (◎)	仲良くなるための工夫が明確（例：問いかけ・共通点など）。事実と考えの両方が整理され、英語も正確で伝え方も明瞭。	28.1%
類型2 (○)	仲良くなる工夫があり、事実と考えの両方が含まれている。英語に多少の誤りはあるが、コミュニケーション上支障となるミスはない。	59.4%
類型3 (△)	事実・考えは述べられているが、仲良くなる意図は薄い。コミュニケーション上、支障のあるミスはない。	12.5%
類型4 (×)	仲良くなる意図は薄く、事実や考えのどちらかしか述べられていない。コミュニケーション上のミスにつながる文法的な誤りが見られる。	0%
類型5 (×)	自己紹介として成立しておらず、内容の整理もなく、仲良くなる意図も見られない。コミュニケーションが成立しないレベルの文法的誤りや発話の不明瞭さがある。	0%

第5章：“伴走者”としての教師

類型	基準	クラスの割合
類型1 (◎)	仲良くなるための工夫が明確(例:問いかけ・共通点など)。事実と考えの両方が整理され、英語も正確で伝え方も明瞭。	28.1 %

話すこと(発表)の評価において、AIに伝わる=客観的に外国人に伝わると考え、文字起こしされた内容を評価。かなり評価の時間的負担が減る。

中学 1年 22番 名前 期限内提出 2025/06/30 11:34 57 . 音声(Q1-0) 5 再提出 閉じる▲

教師の採点

Q1(発話-自由):
音声伝わりやすさ: 57、正確さ: 66、流暢さ: 50、発音: 57

Hello. My name is Junpei. **Call** You can call me Junpei. I love ballet **and**, **and** I can dance very well because I like to dance and jump. **so** My **my** favorite food is sushi. What Japanese food do you like? I like Pokemon **and**, **and** I play Pokemon cards and Pokemon Go. I'm a junior high school student **and**, **and** study I study Pokemon. I love anime and manga. I love Japanese culture and anime. I like Jujutsu Kaisen. Do you like anime? My favorite anime is... Oh, nice. What do you like **in** **about** anime? All of these. Thank you.

生徒全員の発話内容・音声を一覧で確認することが可能。点数入力欄があり、エクセルファイルで出力することができる。

AI × 英語授業の実践から 見えた「個別最適」

生徒の「伝えたい」を学びに変える

「伴走者」としての教師へ